



一般社団法人 都城国際交流協会会報

MIA NEWS

ミア ニュース

編集発行: 一般社団法人 都城国際交流協会

〒885-0073 都城市姫城町4-1

都城市役所北別館 都城市国際交流センター

電話 0986-23-2295 FAX 0986-23-3223

<http://miyakonojo-mia.com/>

E-mail mia@btvm.ne.jp

都城市国際交流員（オーストラリア出身） ジョージ・ウィリアム・グーナン5年分の感謝！



を得ません。

良いことにも必ず終わりが来ますが、この最後の記事に「笑顔あふれるまち」に来て体験、経験できた良いことについてたっぷりお話したいと思います。この先の取り止めの話、先にお詫びしておきます！

都城市に着いた途端、すぐ気に入った、今でも大好物のチキン南蛮や地鶏の炭火焼。少し補足ですが、私がその時、一緒に味わった焼酎を「悪くない！」と何度も言った「事件」は語り種になっています！国際化推進室の皆様のおかげで、日本に移り住み、すぐに生活に慣れることができ、職場環境に恵まれていたと思います。この5年間、皆様からいただいた支援は感謝の念に堪えません。

市職員のためのオーストラリアでの通訳、市役所でオーストラリアからの来客者の通訳、市のラジオ番組に出演したり、テレビの生放送に出たりしたこともありましたが、どちらも達成できて誇りに思っていますが、したことのある事業の中でも特に達成感が大きいのは学校訪問と国際理解講座です。若い子供達から「先輩」の方々まで、オーストラリアの文化や習慣を魅力的に思い、純粋に国際交流や多文化共生に興味を持つ皆様を見ると、言葉では言い表せないほど励みになります。講座の内容や話題が一般的な国紹介から国際情勢、科学技術の発展、医療制度まで豊富であり、両国の数え切れないほどある共通点や相違点について、自分でも山ほど学ぶことができました。この講座に参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。

地元の祭りから国際交流協会の知名度が高いワールドフェスタやワールドビール・アンド・トリビアナイトまで、様々



瞬間に5年が過ぎ去っていき、いよいよ私が都城の皆さんと別れる番となりました。時間の流れを誰にも止められないのは当然ですが、時間が経ち、この不可避な瞬間が訪れると、やはり驚かざる

なイベントにも参加できました。都城に来てから一か月もしないうちに開催された、初耳だった盆地まつりでは、急に外国籍の方に国道10号線中央通りでサンバヤッサを踊る楽しさを教える先生側にまわりました！トリビアナイトの参加者の皆さんのために超難問を用意することも非常に楽しかったですが、皆さんは毎回毎回、期待を超えて正解してくださいました！ワールドフェスタの司会役(そしてステージに出て、ピアノを出演すること)は、いつも緊張しましたが、才能ある県内の外国籍の方の演奏を鑑賞しに来てくださった皆様が楽しんでいただければ幸いです。

都城の夏祭りの魅力を更に発信することも楽しみにしていますし、次回のトリビアナイトで皆様と同じ参加者として来られれば嬉しいです！

この5年の間に都城のほとんどを探索してきました。それでもまだ行ったことのない場所が多いですし、全てがそれぞれに畏敬の念を抱かせる場所ばかりだと思います。ちなみに、先月号に掲載されたルイスさんの記事にあった観光地のほとんどが初耳でした！とは言え、関之尾と母智丘公園は私にとって特別です。初めて見に行ったのは関之尾滝で、木の中を歩き、間近で滝を見たのは印象的でした。母智丘公園の場合、ずっと前からオーストラリアで日本の桜の時期について聞いていて、町の様子、特に公園の様子がガラリと変わるところを実際に見ることができ、感動しました。都城市内で探索できていないところはまだまだあると思いますので次の数年で見に行けたら嬉しいです。

最後になりますが、国際交流員の同僚に感謝を申し上げます。国際交流員の仕事のコツを学んでいた最初の数週間から一緒にイベントを企画し、講座を準備し、チャレンジ動画を撮影するなど、一秒一秒が言葉にできない程大切です。たった数年間に達成した全てを振り返ってみると、本当に凄いと思います。新しく来られた国際交流員が今から数年後に実現できていることも、期待して楽しみにしています！

書きたいことはまだいっぱいありますが、そろそろこの記事締め切るべき時ですね。都城圏域で皆様と一緒にいて、一緒に働くことができ、光栄に思います。全部は諸行無常かもしれませんが、儚いからこそ全ては価値があると思います。出会った皆様も同じ思いだとして嬉しく、また会う日まで、楽しく待っています。

Cheers(チアーズ)、そしてまたお会いしましょう！





こくぐんぎじょうたい

国軍儀仗隊

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

7月と言えば、モンゴルでは最大級のナーダム祭が行われます。祖先から受け継いだ国民の祝日ナーダムは、モンゴル国家の存在と独立、モンゴル人の団結と自由、その歴史、価値、文化遺産、精神的遺産、そして、かけがえのない人類文化財の象徴です。ナーダムは「まつり」という意味です。毎年、7月11日から3日間にわたって、競馬・相撲・弓矢の3つの競技が開催されます。その他にも、伝統民族楽器の演奏・民族舞踊の披露、国軍兵隊による旗印の掲揚式などが大人気です。



今回はナーダム祭にて重要な役割を担う国軍儀仗隊を紹介したいと思います。

ナーダム祭は7月11日11時(午の刻)に国軍儀仗隊による儀式が始まります。9本の白旗が置かれている国会議事堂からナーダム祭の中央スタジアムへ、一番大きい旗を白馬で、残りは8頭の栗毛色の馬に乗って運びます。その後、スタジアムの中心に用意してある旗立て台に9本の白旗を掲揚する特別な式が行われます。

国会議事堂から中央スタジアムまで40分もかかるパレード中は動きのズレもない見事な行進に誰もが感動感心します。国家掲揚式には32人の儀仗隊と32頭の馬が大切な役割を果たします。そして、ナーダム祭最中の11日と12日の朝から晩まで旗印の周りに立ち、1～2時間おきの交代で警衛します。驚くほど力持ちの儀仗隊は国軍032独立司令官

大隊に属し、ナーダム祭の1カ月前から国家掲揚式の訓練を始めます。それぞれ役割が異なります。例えば、旗持ち、旗渡し、旗守りなどの役があります。1本32～35キロもする白旗を渡したり、持ったりするために1カ月にかけて一日10時間くらい馬と一緒に訓練をします。

儀仗隊の儀式の制服は13世紀の「チンギスハーンの親衛隊」を現代的に再現したデザインです。



モンゴルの7月は一年で一番快適な時期でもあり、祭典のナーダムもあるので、都城の皆さん、ぜひ一度足を運んでみてくださいね。儀仗隊の素晴らしい儀式も楽しむことができますよ。



興味のある方は、ナーダム祭の儀仗隊の動画をご覧ください。



オージー バイツ

Aussie Bites (オーストラリアを、ひとかじり!)

～都城市オーストラリア国際交流員 ジョージさんによるオーストラリア紹介～

私は幼い頃、何回も家族と一緒に国内旅行に行ったことがあり、その写真の数枚を皆さんにシェアしたいと思います。

まず初めに、20メートル程の長さのワニの石像が西オーストラリア州ウィンダムにあります。

私と兄はまるでワニのおやつにしか見えないでしょう。



地球外のものに興味がある方であれば、オーストラリアの中央に近い「ワイクリフ・ウェル」という地域に行くと、火星を見かけるかもしれません！

オーストラリアでは、こういう変わっていて、かつ独特な物はどんな地域でも見つかりますから、どうぞ探してみてください！



インフォメーション ～一般社団法人都城国際交流協会からのお知らせ～

一般社団法人都城国際交流協会の理事会及び総会を開催しました。

令和5年(2023)年6月5日、一般社団法人都城国際交流協会の理事会及び総会を開催しました。多忙な中、理事会、総会に参加いただきました、理事、監事の皆様、会員の皆様、心より御礼を申し上げます。また、委任状をご提出いただきました皆様方に心より感謝を申し上げます。

理事会、総会では、旧都城国際交流協会の解散、新しく設立した一般社団法人都城国際交流協会の理事選任、規程、事業計画及び収支予算のご審議をいただき、ご承認いただきました。

今後とも本協会への御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



盆地まつり踊り連 参加者募集！

「盆地まつり」踊り連に参加します。一緒に正調安久節とサンバヤッサを踊りませんか？皆様の参加をお待ちしています。＊はっぴで踊ります。協会では、はっぴをお貸しします。

日時：8月5日(土)18:00～18:50

〔雨天順延8月6日(日)。雨天順延の場合、協会は参加しません。〕

踊る場所：中央通り、中町交差点付近

集合場所：都城市役所北別館2階(踊りの練習をします)

集合時間：16:00

定員：20名(事前申し込みが必要です)

お問合せ・申込み：

(一社)都城国際交流協会までご連絡ください。

TEL 0986-23-2295

E-mail mia@btvm.ne.jp



編集部より

6月末に、ウランバートル市の青少年が都城を訪れました。対応していた皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。その交流の中で、引率のアリウンザヤさんが、日本の曲で「なごり雪」が大好きだと言っていました。「音楽は交流の最も有効なアイテムだなー」と感じました。音楽好きの勝手な意見ですが…。何故かその時にはイルカについて、それ以上の話はしなかったのですが、今度来られた時には、「海岸通」「Follow me」とかほかにも素晴らしい曲があるんですよと教えてあげます。

〔徳留〕

皆さん、こんにちは。また懲りずに『全国行ったつもりでぶらり旅コメント』はじめまーすm(。)m

今回は奈良県。奈良といえば、奈良公園や法隆寺、鹿せんべいや奈良漬けといったところが有名どころでしょうか？そして、忘れてはいけないのが、東大寺の「大仏」でしょう！

正式には【東大寺盧舎那仏像(とうだいじるしやなぶつぞう)】といいます。西暦745年から7年かけて制作され、完成後、2回消失しましたが、その都度再興され、補修されています。

最初に作られた時は金メッキを施すために水銀や金が大量に使われたといわれており、その後、鎌倉時代では銅、江戸時代には鉛が多く使われたそうです。

時代が変わるとともに見た目も変わっていくのって、人の温かみさえ感じますね(@_@;)

〔西畑〕

先月は、コロナによりずっと中止になっていたモンゴル国ウランバートル市青少年交流団の受入を行いました！私が国際化推進室に来てから初めての受入でしたので、ドキドキとワクワクが止まりませんでした。一部、都城泉ヶ丘高校や都城高専の生徒さんにも協力をもらい、青少年交流団の皆さんをもてなすことができました。私は全ての行程に同行したわけではありませんが、それでも子供たちと一緒に行動し、楽しそうに日本文化や都城の文化を体験している姿を見ると、こちらまで楽しく元気になるような気がしました。今年はこれまでコロナでできなかったたくさんの交流事業を開催できる年となると思いますので、MIA会員の皆さまを含め、たくさんの外国人の人たちと交流できるのが今から楽しみです！

〔川内〕

6月、中国でヒットした話題といえば、サッカーグラウンドに乱入した10代の少年です。6月15日、アルゼンチン代表とオーストラリア代表の親善試合が北京工人体育場で行われました。この少年はリオネル・メッシの大ファンで、メッシさんと近距離で接したく、警備員をかいぐってグラウンドに侵入しました。この日のため、彼はわざわざ乱入関連の法律相談をしにいき、且つ一週間前から毎日走りの練習をしたそうです。その後、少年は処罰を受けました。中国の人々は、少年の行動について、厳しく責めることなく、むしろ「勇気に感心し

た」、「自分もしたかったことをやった」、「これが青春。夢をかなえた。うらやましい」といったプラスの声が多かったです。「好き」に向かって、熱意を持って取り組むことは、心を打たれますね。

〔かれん〕

7月29日、任期満了のため、今回のコメントが最後となります。今月の記事に書いてある通り、「人は一時的なもののだからこそ時間を大事に使わなければならない」ですが、今までのコメントや記事、オーギー・パイツ等、楽しんでいただけましたか？

自然現象に関わる数学や物理学、科学、また雑学クイズやなぞなど等、様々な分野のことを紹介しましたが、書いたものを通して視野を少しでも広げていただけていたら嬉しいです。

なぞなぞと言えば、「What has 13 hearts, but no other organs?」答えは、トランプです！では、私はこれで「上がります」が、また会う日まで、楽しみに待っています！See you all again soon!

〔ジョージ〕

6月に高千穂峽に行ってきました。モンゴルで大学生の時、職員室の壁に張っていたカレンダーで高千穂峽の写真を見たことがあって、いつか行ってみたいなあと思っていました。夢は確かに叶えるものだなあと改めて感じられました。ボートも思い切り楽しんできました。観光用の神楽は見ましたが、年末年始の本番の神楽もまた見に行きたいです。

〔ヒシゲ〕

6月5日、(社)都城国際交流協会の理事会、総会を開催いたしました。法人化になって事務になれないところもありましたが、理事、監事、会員皆様のご協力をいただき、議事のご承認をいただきました。法人化最初の年度ですが、協会の運営をしっかりと進めてゆきたいと思います。今後とも、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

〔藤元〕

「娘のピアノの練習に合わせて自分も弾けるようになれば」と、のんびり考えていたのに、思いのほか早く連弾をする機会がやってきました。自分が習っていた頃もあったのでしょうか。初級の楽譜の左ページは、ピアノの先生と連弾する楽譜があるのです。必死に楽譜を読み、鈍った指を動かし、まあまあ上手に弾けるママを装って連弾を楽しんでいます。

〔迫田〕

先月も、出会いに感謝する月でした。なんと、大学の指導教授が都城市に來られました。理論と現実の状況を映画のように面白く結びつけて、教えてくださる先生でした。目的は、研究員3名の方と、都城市の中心市街地のヒアリング調査と都城市立図書館の視察でした。都城市のことを熱心に取りこぼす先生と研究員の姿に感動しました。お世話になっている町に、恩師が来てくださったことが私にとって何より嬉しいことでした♡

〔ソコ〕